

札幌市一般廃棄物処理基本計画

スリムシティ さっぽろ計画 (改定版) 概要

札幌市では、一般廃棄物
処理基本計画「スリムシティ
さっぽろ計画」を平成 20 年 3 月
に策定し、市民・事業者・札幌市の
協働によるごみの減量に取り組んでき
ました。

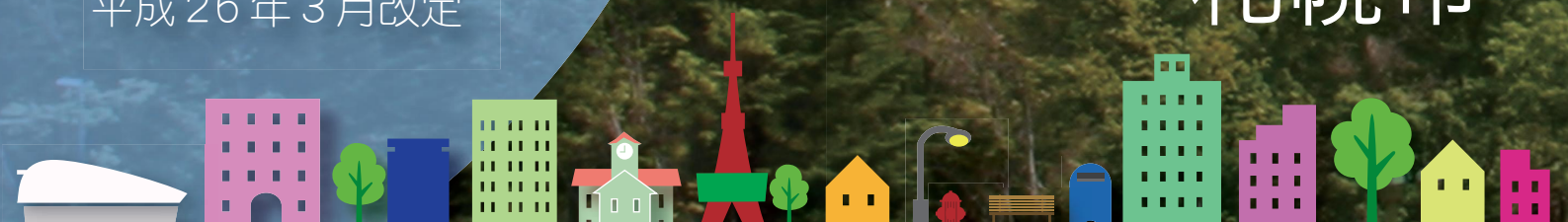
平成 21 年 7 月の「新ごみルール」開始後、
焼却ごみの大幅な減量に成功し、老朽化して
いた篠路清掃工場を廃止することができたの
は、札幌市民のまちの課題を解決する力、「市
民力」の結集の成果です。

このような札幌市民の高い「市民力」を活か
し、ごみ減量・リサイクルをさらに推進すると
ともに、計画策定時から変化した状況等に対応
するため、このたび「スリムシティさっぽろ
計画（改定版）」を策定しました。

Slim City Sapporo Plan

平成 20 年 3 月策定
平成 26 年 3 月改定

札幌市



第1章 「スリムシティさっぽろ計画」の改定

■計画改定の必要性

平成20年3月、札幌市は「環境低負荷型資源循環社会（都市）の実現」を目標に掲げ、平成29年度までの10年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画」を策定しました。

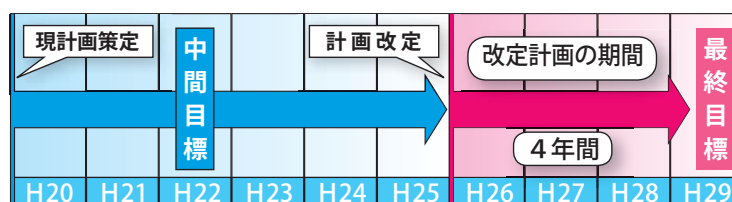
その後、家庭ごみの有料化や「雑がみ」「枝・葉・草」の分別収集をはじめとするさまざまな施策を実施したことにより、ごみ量は大幅に減少し、札幌市のごみ排出状況は大きく変化しました。

また、第6期札幌市廃棄物減量等推進審議会において、今後のさらなるごみの減量に向けては、「発生・排出抑制の推進」と「生ごみの減量・資源化の推進」に重点的に取り組むべきとの評価がなされるなど、現計画を見直す必要が生じていました。

そこで、第7期札幌市廃棄物減量等推進審議会に対し、「市民力の活用」と「限られた財政状況の中で最大限の効果」という2つの観点から計画改定の方角性について諮問し、「発生・排出抑制の促進」「生ごみ減量・資源化の促進」などの提言からなる答申の趣旨や「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の方角性を踏まえ、改定計画を策定しました。

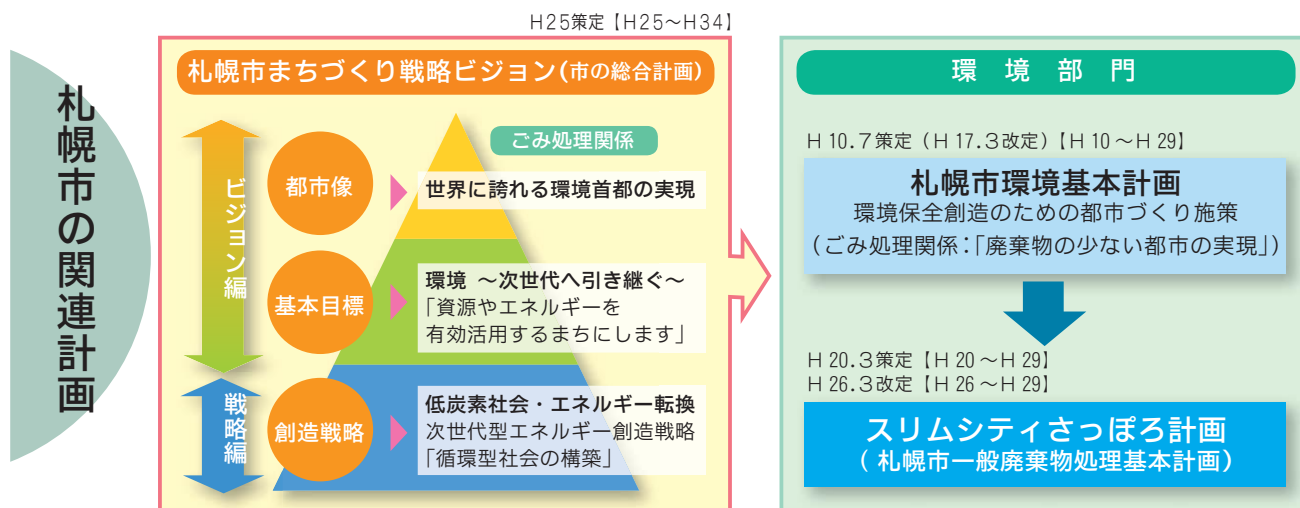
■計画期間

改定計画では、計画期間を平成26年度から平成29年度の4年間とし、平成29年度を引き続き目標年度とします。



■計画の位置付け

本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）に基づいて策定したものであり、札幌市の総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」や、「札幌市環境基本計画」との整合を図り、長期的・総合的な視点から廃棄物部門における方針、目標及び施策を提示するものです。



■計画改定の背景

大量生産・大量消費・大量廃棄型社会

環境負荷

資源・
エネルギー

製品

ごみ

処理
埋立

各段階で大量にエネルギー消費、温室効果ガス発生

ごみの減量＝重要な環境負荷低減策

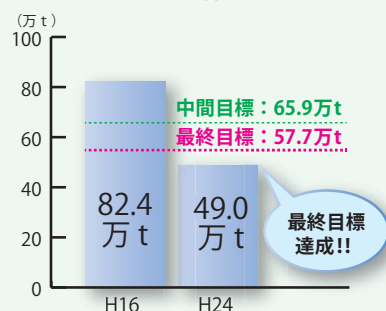
市民一人ひとりの行動の変化が
地球環境問題を解決！

新ごみルール導入 (平成 21 年 7 月)

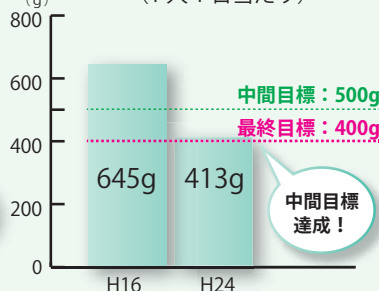
- 「家庭ごみの有料化」の実施
- 「雑がみ」「枝・葉・草」の分別収集開始
- 製品プラスチックの分別区分変更 など

平成24年度実績

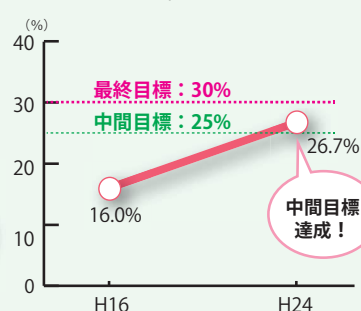
■廃棄ごみ量 (全体)



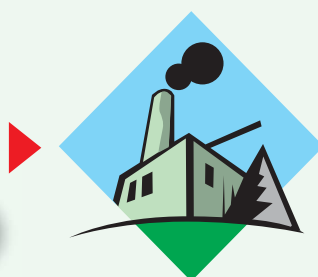
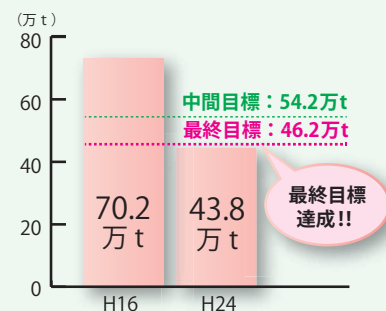
■家庭から出る廃棄ごみ量 (1人1日当たり)



■リサイクル率

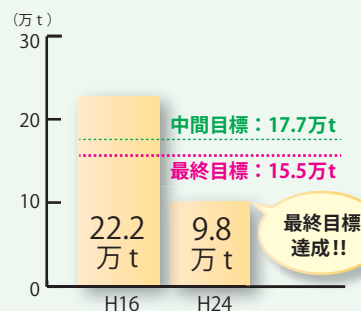


■焼却ごみ量



篠路清掃工場廃止!
(平成 23 年 3 月末)

■埋立処分量



次の ステップへ

- 発生・排出抑制の促進
- 生ごみ減量・資源化の促進
- より積極的な普及啓発の展開

「市民力」を結集して
ごみの減量・資源化

- 資源循環を目指して限りある資源やエネルギーを有効活用
- 循環への負荷をできる限り少なくする社会に

環境低負荷型資源循環社会 (都市) の実現

第2章 札幌市のごみ処理の現状と課題

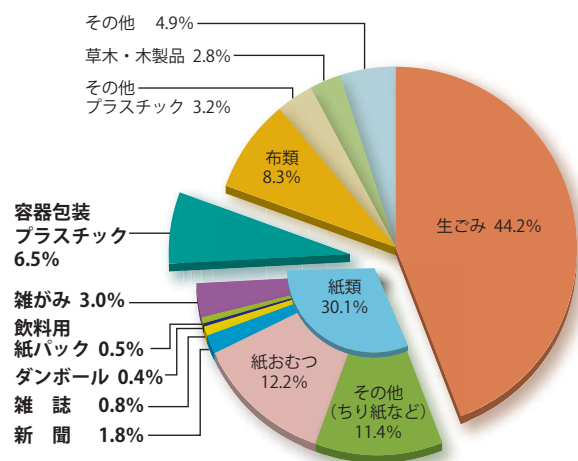
■さらなるごみの減量に向けた「市民力の結集」

さらなるごみ減量・リサイクルを推進していくためには、これまで発揮されてきた「市民力」を改めて結集して取り組むことが不可欠です。市民・事業者が自主的にごみの減量とリサイクルを実践できるような環境づくりを行っていく必要があります。

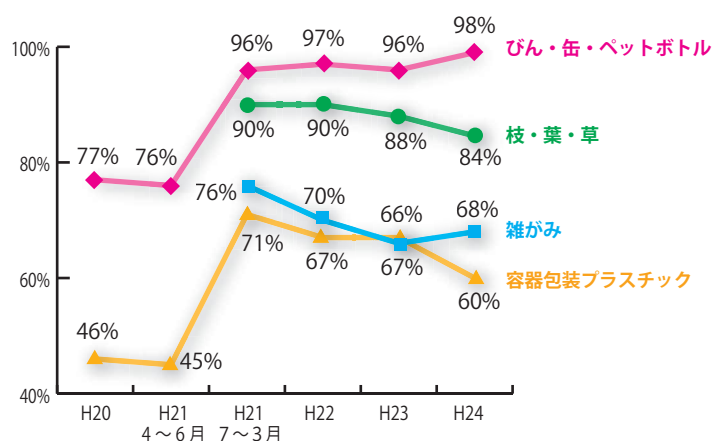
■「燃やせるごみ」に出される資源物

現在、「燃やせるごみ」に多くの資源物が排出されており、特に、分別が進んでいない紙類と容器包装プラスチックを正しく分別し、資源物として出すことを促す積極的かつ継続した普及啓発が必要です。

■燃やせるごみの組成（平成24年度）



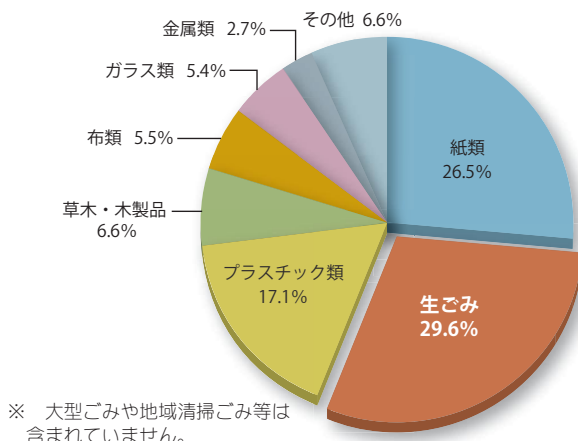
■分別協力率の推移



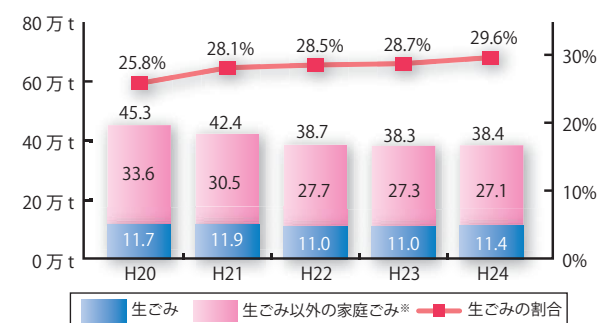
■家庭から出る生ごみへの対応

生ごみはごみステーションから収集するごみ全体の約3割、「燃やせるごみ」の約4割を占めており、さらなる焼却ごみの減量に向けては、生ごみに焦点を当て、より一層の減量・資源化に取り組んでいくことが不可欠です。

■家庭ごみ(ステーション収集)の組成(平成24年度)



■生ごみの排出量と家庭ごみに占める割合の推移

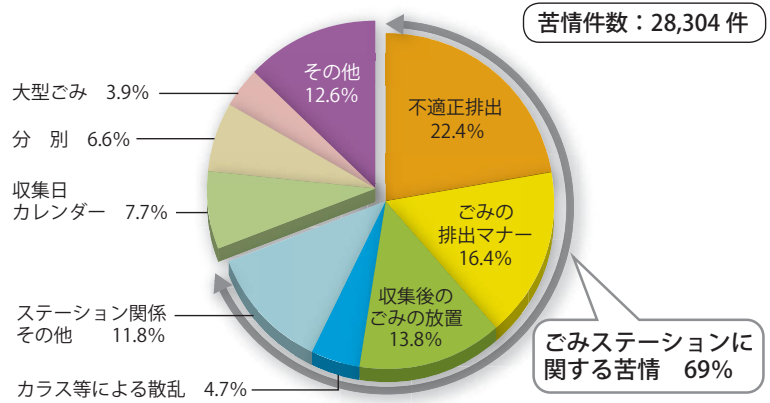


※ 大型ごみや地域清掃ごみ等は含まれていません。

■ごみステーションに関する市民ニーズ

市民のごみステーションに対する関心は非常に高く、清掃事務所に寄せられる苦情の7割がごみステーションに関するものです。このような市民ニーズに対応するため、ごみステーションの改善に関する施策を拡充していく必要があります。

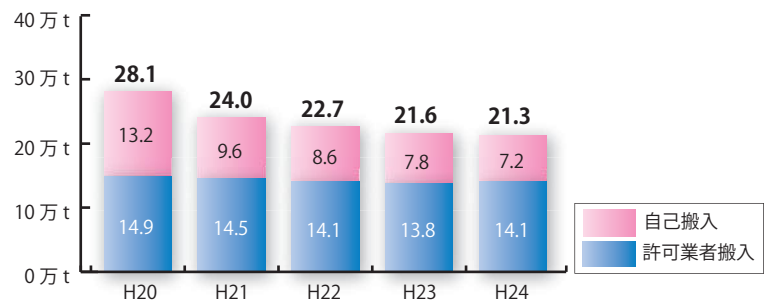
■清掃事務所に寄せられた苦情の件数と内訳（平成24年度）



■事業ごみの減量とリサイクル

資源化可能な紙ごみや木くずが清掃工場に搬入されることも多い現状を踏まえ、事業者によるごみの減量や分別、民間リサイクルルートを活用などの取組をさらに促進していく必要があります。

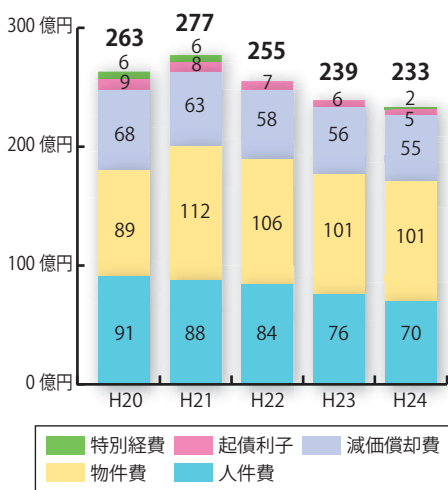
■札幌市が処理した事業ごみの推移



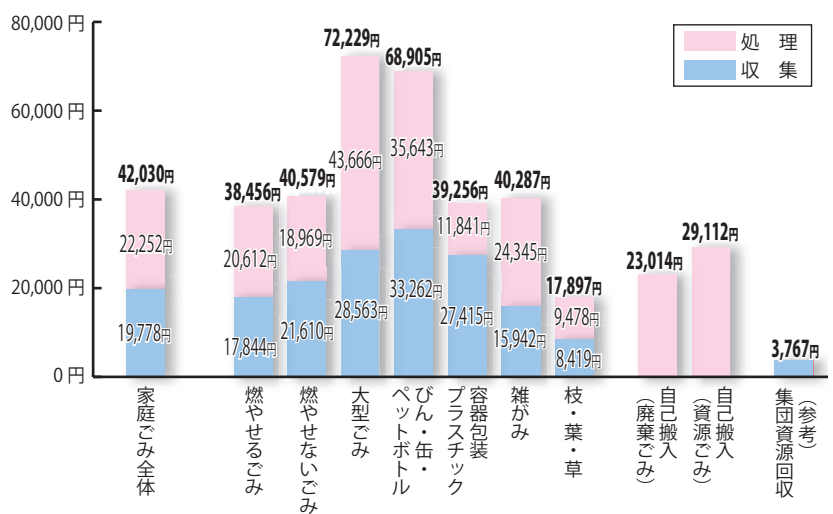
■ごみ処理費用抑制の必要性

ごみ処理費用は順調に減少していますが、清掃事業全般の効率化などにより、ごみ処理費用をさらに抑制していくことが求められます。

■ごみ処理費用の推移



■1トン当たりのごみ種別処理原価（平成24年度実績）



第3章

基本計画の目標と施策体系

基本目標

環境低負荷型資源循環社会（都市）の実現

基本方針1 環境

発生するごみを低減するとともに、ごみ処理に伴う環境負荷をできる限り少なくする

基本方針2 経済

費用対効果を十分考慮し、かかる費用を最小限に抑える

基本方針3 社会

市民・事業者・札幌市の協働によるごみ減量・リサイクルの取組を促進する

ごみ量管理目標

目標
平成
29年度

1 廃棄ごみ量全体の減量目標

H24比 **3.0万t** 以上減量

2 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標

1人1日当たり **380g** 以下

3 家庭から出る生ごみ量の減量目標

H24比 **1.0万t** 以上減量

4 リサイクル目標(リサイクル率)

30% 以上

5 焼却ごみ量の減量目標

H24比 **2.8万t** 以上減量

6 埋立処分量の減量目標

H24比 **2.0万t** 以上減量

スリム行動指標

目標
平成
29年度

1 指定ごみ袋の使用枚数を減らそう！

指定ごみ袋の使用枚数
1世帯1月当たり
10ℓ換算 **1枚** 以上減量

2 紙・容器・プラをきちんと分別しよう！

燃やせるごみに含まれる紙・容器・プラの量
1世帯1月当たり
1kg 以上減量

3 生ごみは水切りしてから出そう！

生ごみの水切り実践世帯の割合
80% 以上

施策の柱1 発生・排出抑制の促進

重点施策1

発生・排出抑制のしくみづくり

重点施策2

市民による自主的な資源化の促進

重点施策3

事業者による自主的な資源化の促進

施策の柱2 収集・処理体制の確立

重点施策4

資源循環型ごみ処理体制の確立

重点施策5

環境低負荷型ごみ収集・処理体制の確立

推進方策

推進施策1

市民サービスの改善

推進施策2

普及啓発と環境教育の充実

推進施策3

家庭ごみ処理手数料制度の円滑な運用

推進施策4

清掃事業の効率化と安定的な体制の構築

■基本目標

改定計画では、現計画で目指してきた環境低負荷型資源循環社会（都市）を引き続き札幌市の理想像として掲げ、基本目標とします。

基本目標

環境低負荷型資源循環社会（都市）の実現

かけがえのない地球環境を守るため、札幌市民一人ひとりが自覚し、積極的にごみ減量・リサイクルの取組に参加・行動することで、「大量生産・大量消費・大量廃棄型社会」から脱却し、生活の無駄を省き、資源循環を目指して限りある資源やエネルギーを有効に使う、そして環境への負荷をできる限り少なくする社会を目指していきます。

■基本方針

基本目標の達成に向けて、現計画に引き続き、「環境」「経済」「社会」の3つの基本方針を掲げ、これら3つの視点を考慮した上で、札幌市のごみ減量の取組を策定します。

基本方針1 環境

発生するごみ量を低減するとともに、 ごみ処理に伴う環境負荷をできる限り少なくする

ごみの発生・排出を抑制し、それでもなお排出されるごみについては、資源化の推進によって焼却処理や埋立処分するごみを少なくするとともに、環境負荷のできる限り少ない適正な処理を目指していきます。

基本方針2 経済

費用対効果を十分考慮し、 かかる費用を最小限に抑える

ごみ減量・リサイクルへの取組やごみの適正処理に当たっては、費用対効果を十分考慮し、かかる費用を最小限に抑えていきます。

基本方針3 社会

市民・事業者・札幌市の協働による ごみ減量・リサイクルの取組を促進する

ごみの減量・リサイクルについては、市民・事業者・札幌市それぞれが、自らの問題として認識し、役割と責務を果たしながら、協働して取り組んでいきます。

■ ごみ量管理目標

改定計画では、現計画に掲げた5つのごみ量管理目標を引き続き項目として設定することとし、「環境低負荷型資源循環社会（都市）の実現」に向けて、すでに達成済みの3つの目標と「家庭から出る廃棄ごみ量」について、より高い目標値を設定します。

また、「燃やせるごみ」の4割を占める生ごみに着目した「家庭から出る生ごみ量」を新たなごみ量管理目標として設定します。

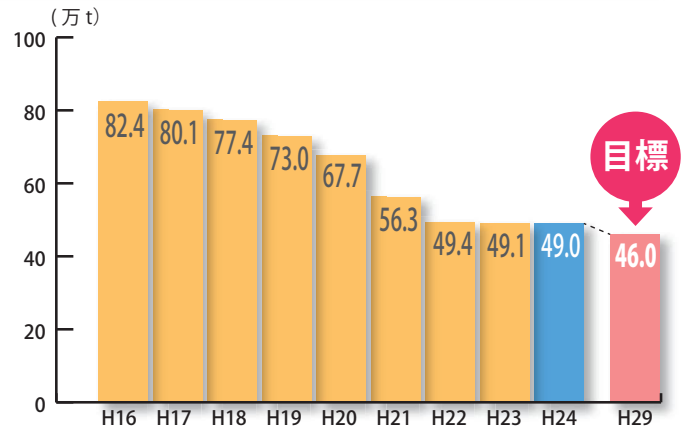
① 廃棄ごみ量全体の減量目標

廃棄ごみ量

平成 24 年度比

3.0 万 t 以上減量

（平成 24 年度実績：49.0 万 t）

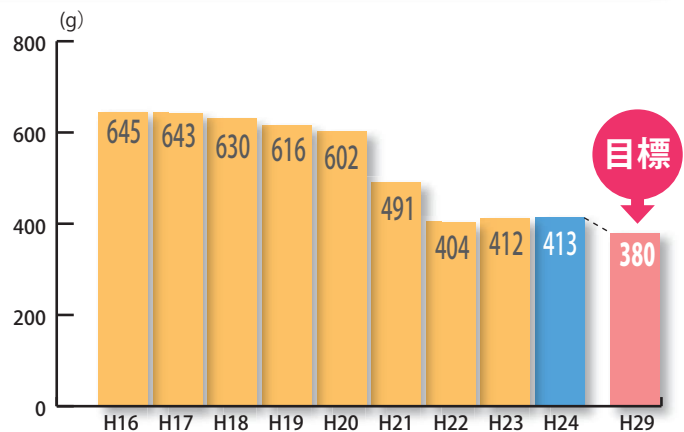


② 家庭から出る廃棄ごみ量の減量目標

市民 1 人 1 日当たりの廃棄ごみ量

380 g 以下

（平成 24 年度実績：413 g）



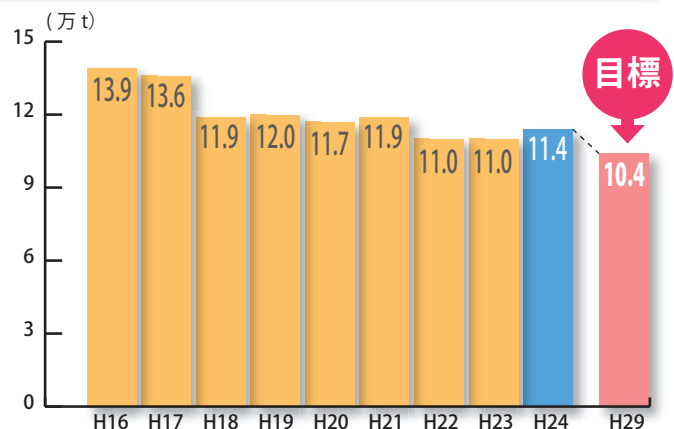
③ 家庭から出る生ごみ量の減量目標

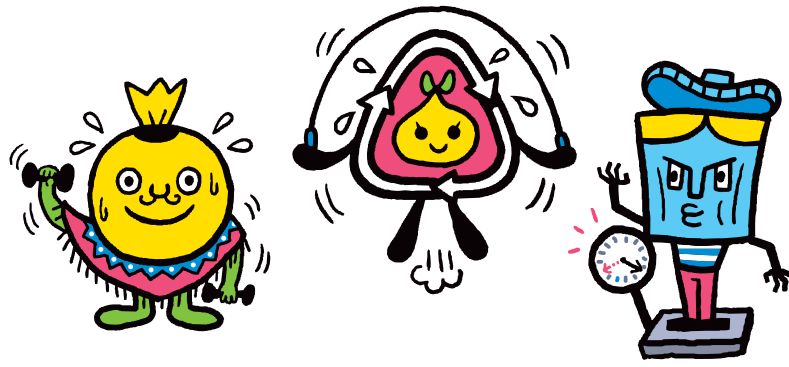
家庭から出る生ごみの量

平成 24 年度比

1.0 万 t 以上減量

（平成 24 年度実績：11.4 万 t）



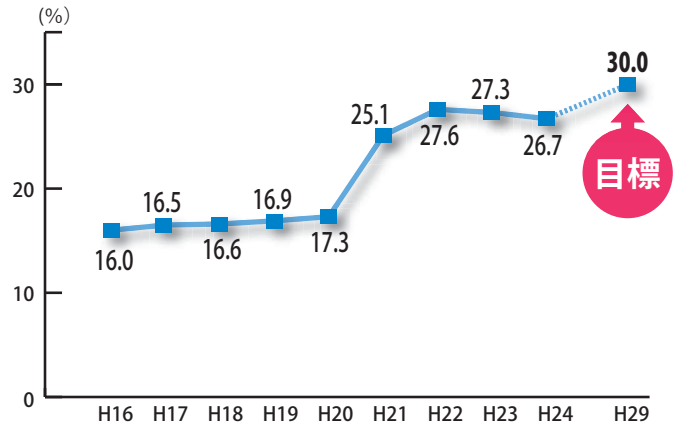


④ リサイクル目標

リサイクル率

30%以上

(平成 24 年度実績：26.7%)



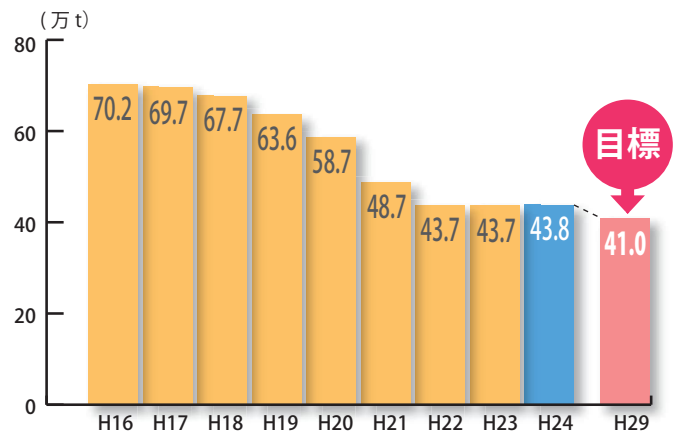
⑤ 焼却ごみ量の減量目標

札幌市が焼却するごみ量

平成 24 年度比

2.8 万 t 以上減量

(平成 24 年度実績：43.8 万 t)



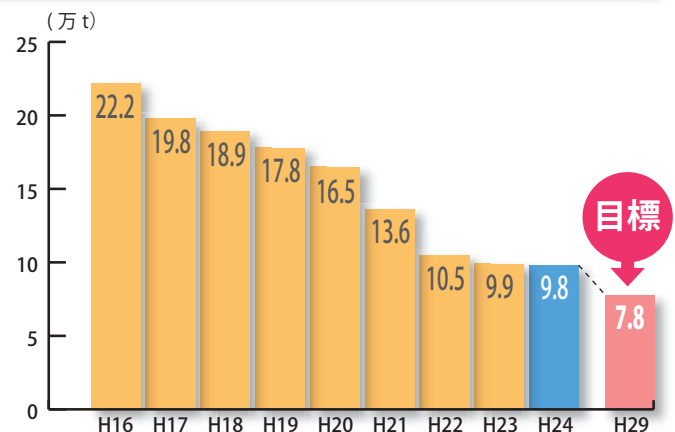
⑥ 埋立処分量の減量目標

札幌市が埋立処分するごみ量

平成 24 年度比

2.0 万 t 以上減量

(平成 24 年度実績：9.8 万 t)



■ みんなでごみ減量！スリム行動指標

NEW

ごみ量管理目標は、市民・事業者・札幌市それぞれが多種多様な取組を行って達成を目指す目標であることから、市民にとって、実践する必要がある具体的な行動との直接的な関係をイメージしづらいという側面があります。

このことから、改定計画では、ごみ量管理目標の達成に向けて各家庭で特に実践してほしい3つのごみ減量・リサイクル行動を掲げ、その実践と習慣化を推進するとともに、それぞれの行動により達成してほしい目標を明確に示すため、「みんなでごみ減量！スリム行動指標」を新たに設定します。

① 指定ごみ袋の使用枚数を減らそう！

指定ごみ袋の使用枚数

1世帯1月当たり、10リットル換算

1枚以上減量

平成24年度実績：14枚

どうやって減らしたらいいの？

- まずは、毎日の生活を見直して、ごみ減量の基本である4つの「R」を心がけてみましょう。ごみを減量する方法はたくさんあります。
- ごみの減量で指定ごみ袋の節約を！

「4R」とは、札幌市が推進するごみを減らすための環境行動を表すキーワードで、全国的に推進されている3R「リデュース（Reduce）」「リユース（Reuse）」「リサイクル（Recycle）」に「リフューズ（Refuse）」を加えたものです。

- リフューズ（発生抑制）：ごみになるものは断る、買わない、持ち込まない
- リデュース（排出抑制）：ごみを減らす、出さない、作らない
- リユース（再利用）：捨てる前に再利用
- リサイクル（再生利用）：資源に戻して再利用

② 紙・容器プラをきちんと分別しよう！

燃やせるごみに含まれる紙・容器プラの量

1世帯1月当たり

1kg以上減量

平成24年度実績：3kg

紙や容器プラの重さってどのくらい？

- ・新聞（朝刊） 約170g
 - ・ダンボール（ミカン箱） 約500g
 - ・牛乳紙パック（1ℓ） 約30g
 - ・シャンプー容器（350ml） 約50g
 - ・卵ケース（10個入り） 約19g
- きちんと分別し、資源物として排出を！

③ 生ごみは水切りしてから出そう！

生ごみの水切り実践世帯の割合

80%以上

平成24年度実績：68%

生ごみの水切りって何をしたらいいの？

- 生ごみは多くの水分を含んでいます。捨てる前の水切りで、約10%の減量が可能です！
- ・水切りの基本は「最初から濡らさない」ことです。野菜などは、使えない部分を切り落としてから洗いましょう！
- ・「水切り器」などで、捨てる前に一絞りを

■ 施策の柱（重点施策）

環境低負荷型資源循環社会（都市）の実現に向けて、市民・事業者がごみを排出する前の「発生・排出抑制の促進」と、ごみが排出された後の「収集・処理体制の確立」の2つを施策の柱とします。

【施策の柱1】 発生・排出抑制の促進

ごみ減量・リサイクルを効果的に推進していくためには、ごみとなるものを持ち込まないことや、不用になったものを商品や資源として繰り返し利用することなど、まずはごみとして排出されないようにする取組が必要であることから、「発生・排出抑制の促進」を施策の第1の柱とし、以下の3つの施策を重点施策と位置付けます。

重点施策1：発生・排出抑制のしくみづくり

重点施策2：市民による自主的な資源化の促進

重点施策3：事業者による自主的な資源化の促進

【施策の柱2】 収集・処理体制の確立

収集・処理に当たっては、資源を有効に活用するとともに、環境への負荷をできる限り少なくする必要があることから、「収集・処理体制の確立」を施策の第2の柱とし、以下の2つの施策を重点施策と位置付けます。

重点施策4：資源循環型ごみ処理体制の確立

重点施策5：環境低負荷型ごみ収集・処理体制の確立

■ 推進方策

ごみ減量・リサイクルを推進していくためには、実行する具体的な取組とともに、その取組が積極的に実践されるようにする方策が必要であることから、施策の柱とした「発生・排出抑制の促進」「収集・処理体制の確立」の実現に向けて、以下の4つの推進施策と併せて行うことにより、総合的に推進していきます。

推進施策1：市民サービスの改善

推進施策2：普及啓発と環境教育の充実

推進施策3：家庭ごみ処理手数料制度の円滑な運用

推進施策4：清掃事業の効率化と安定的な体制の構築

第4章 重点施策

■重点施策1：発生・排出抑制のしくみづくり

市民・事業者にごみ減量行動に取り組んでもらえるよう、きっかけづくりとその習慣化を促すための取組を行うとともに、国や製造・販売業界に対して、生産・流通・販売段階における発生抑制のしくみづくりを働きかけていきます。

主な取組

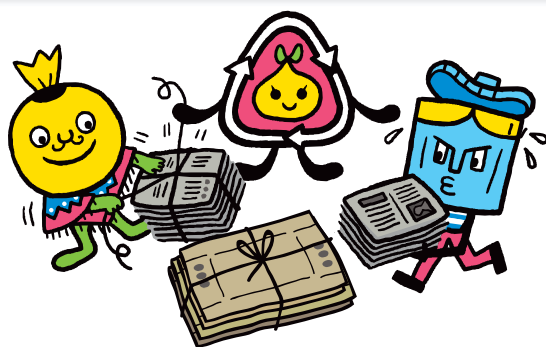
- 「みんなでごみ減量！スリム行動指標」を活用した広報
- 事業者等と連携して、ごみ減量行動にインセンティブを働かせる取組を検討
- 簡易包装やばら売りなど、家庭ごみの減量につながる取組の実践を事業者に働きかけ
- 「無駄なく食べきるための調理方法」などの分かりやすい情報発信
- 水切り器を活用したより効果的な水切り方法や市民が水切りを実践することにより得られるメリットなどの普及啓発

■重点施策2：市民による自主的な資源化の促進

市民による自主的な資源化の促進に向けて、集団資源回収や拠点回収などの利便性を高めるとともに、生ごみの堆肥化など、家庭内で実施するごみ減量・リサイクルの取組を支援していきます。

主な取組

- 土日や夜間でも利用できる回収拠点や通勤者をターゲットとした資源回収ポストの設置など、回収拠点の増設や拡充を検討
- 回収拠点に生ごみ堆肥を持ち込んだ市民へインセンティブを付与する取組を検討
- 地域の各家庭で作った生ごみ堆肥を地域の花壇等で活用する取組の拡充
- 地域グループによる自発的な資源化活動を支援し、その取組の成果に応じたインセンティブを付与する取組を検討



■重点施策3：事業者による自主的な資源化の促進

事業者による自主的な資源化の促進に向けて、民間リサイクルルートの活用などによる自主的な資源化を促進するとともに、事業ごみ指導員による指導などを通じて適正排出を促していきます。

主な取組

- 事業ごみ指導員・搬入指導員による啓発・指導により、事業所から排出される紙ごみなどを民間リサイクル施設等へ誘導
- 小規模事業者等と連携した資源物のリサイクルルートの構築

■重点施策4：資源循環型ごみ処理体制の確立

集団資源回収や拠点回収などの取組を進めていますが、それでもなお排出された資源化可能なごみについても、できる限り資源として循環するよう、焼却灰リサイクルやごみ焼却エネルギーの効率的な回収などを推進し、資源循環型ごみ処理体制を確立していきます。

また、資源のさらなる有効利用を図るため新たな資源化手法についても調査研究を進めていきます。

主な取組

- ごみ焼却エネルギーのより効率的な回収等について調査検討
- 清掃工場で発生する焼却灰をセメント原料として資源化する焼却灰リサイクルを拡大
- 廃棄物系バイオマスを固形燃料化するバイオコークス化技術などの導入に向けた調査研究

■重点施策5：環境低負荷型ごみ収集・処理体制の確立

ごみ処理による環境負荷をできる限り低減するため、清掃工場や埋立地の計画的な整備や環境保全対策、ごみ収集作業における環境負荷の低減、不法投棄対策などにより、環境低負荷型のごみ収集・処理体制の確立を目指していきます。

主な取組

- 計画的な設備の整備や更新による施設の延命化
- エネルギー供給拠点としての役割を見据え、より効率的な廃棄物発電や熱利用等を推進する駒岡清掃工場の更新計画策定

第5章 推進方策

■推進施策1：市民サービスの改善

カラス・小動物による被害、設置場所や管理などのごみステーション問題の改善に向けて、日常的なパトロール等に加え、地域と連携した啓発活動やごみステーション管理支援、ごみステーションの小規模化等の取組を行っていきます。

また、ごみの排出が困難な方を支援していくとともに、併せて安否確認を行うなど、安心につながる取組を行っていきます。

主な取組

- 地域と連携して実施する早朝啓発やごみステーション管理器材助成などによる地域のごみステーション管理支援
- 「さわやか収集※」の要件緩和や利用者の安否確認などの支援

※ さわやか収集：ごみを自らごみステーションに排出することが困難な方を支援する取組

■推進施策2：普及啓発と環境教育の充実

ごみ減量・リサイクルに関する情報を、市民・事業者向けにさまざまな方法で発信し、具体的にごみ減量・行動と適正排出の定着につなげていきます。

さらに、次世代のごみ減量行動実践者となる子どもの環境に対する関心を高めるため、環境教育を充実させていきます。

主な取組

- 市外転入者が区役所を訪れるタイミングを活用した普及啓発
- ごみ分けガイドやオリジナルごみ分別アプリ、事業者向けのマニュアル配布など、目的や対象に合わせた情報発信
- 「燃やせるごみ」として特に多く排出されている「紙類」と「容器包装プラスチック」の排出方法を改めて周知する普及啓発キャンペーン
- 環境副教材の作成・配布、ごみ処理施設の親子見学会、大学生と協働で行うごみステーション早朝啓発等



■推進施策3：家庭ごみ処理手数料制度の円滑な運用

家庭ごみ処理手数料制度の目的は、経済的な動機付けにより、ごみ減量・リサイクルのより一層の促進を図るとともに、ごみを多く出す人は多くの金銭の負担、ごみ減量・リサイクルに手間をかけた人は少ない金銭の負担となり、より費用負担の公平性が確保されます。

こうした観点から、家庭ごみ処理手数料制度をごみ減量・リサイクルを促進するための重要な施策として位置付けて円滑に運用していくとともに、その効果を検証していきます。

主な取組 ● 指定ごみ袋取扱店の確保と指定ごみ袋の適正な製造・在庫管理等

■推進施策4：清掃事業の効率化と安定的な体制の構築

ごみ処理には多大な経費がかかっていることから、引き続き、収集・処理業務の効率化を進めていきます。

併せて、大規模な災害に備えた取組や近隣市町村を含めた広域処理のあり方を通じて、札幌圏で中心都市として果たす役割について検討していきます。

主な取組

- サービス水準の維持や災害時における体制の確保など、安定的にごみ収集・処理を行うための課題を整理・検討したうえで、収集業務等を効率化
- 防災マニュアルの点検・見直し、シミュレーション訓練の実施
- 札幌圏における震災がれきの処理のあり方について近隣市町村と連携・検討
- 広域的な協力体制のあり方について、他自治体と協議



みんなでごみ減量！スリムシティさっぽろ

紙の分別

新聞や雑誌などは資源に出してリサイクル！

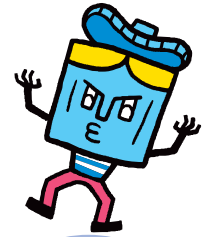
新聞や雑誌、ダンボールなどは集団資源回収や回収拠点に！



チラシ・パンフレット類

チラシ・コピー用紙
ノート・カタログ
パンフレット

集団資源回収等に出せない場合は
「雑がみ」にも出せます。



集団資源回収
・回収拠点に
出しましょう！

容器プラ の分別

汚れた容器プラは、“軽く”すすいでリサイクル！

中身を使い切って！汚れているときのすすぎは、
固形物を落とす程度でOKです。



パック・トレイ、プラスチックボトルなど

固形物が落ちる程度に、“軽く”すすぎます。



チューブ類

中身を使い切る
だけでOKです。



製品プラスチック

容器プラ

燃やせるごみ

生ごみの 水切り

水切りは「もうひと絞り」がポイント！

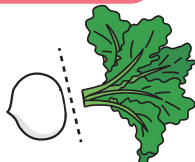
生ごみは水分が多いので、水切りするだけで
10%も減量できます。



生ごみの水切り3つのステップ

1 初めから濡らさない

使わない部分を
切り落としてから
洗いましょう。



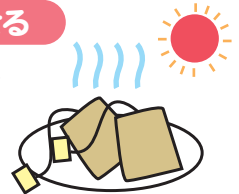
2 捨てる前に絞る

水切り器などを
活用してギュッと
ひと絞り。



3 乾燥させる

さらに乾かすと
減量効果大！
天日干しがより
効果的。



嫌な臭いが減る



指定ごみ袋の
節約に



ゴミステーション
が清潔に



収集時のエネルギー、
CO₂を削減



ごみがより
燃えやすくなる

